

コース名		専門人材特化型コース		
講座名		社会人向けサイバーセキュリティ人材育成講座(九州大学SECKUN)（共同事業）		
科目名		セキュリティとコンプライアンス経営		
必修・選択		—	単位	—
概要・目的		企業におけるマネジメントとは、内外のステークホルダー・関係者に経営課題の重要性を認識してもらい、行動変容を促すことです。その課題の重要性は問題発生時の企業の法的責任を直視することで浮かび上がってくるのであり、「セキュリティー」もそのような経営課題の一つとして捉えることができます。この課題に対し、「経営学」「法学」の両面からアプローチをすることで、セキュリティーに携わる管理職をはじめとする受講生の方々に、経営者視点を得てもらいます。分析モデルとしてLSMAP（Legal Stakeholders MAP）を用い、講義・演習を分りやすく進めます。		
到達目標		LSMAPモデルで、受講生が現在の業務において抱えているセキュリティー諸課題を漏れなくダブリなく客観的に分析し、その重要性和コンプライアンス視点をはじめとする改善策・改革案を役員・決定権者に説明し理解を得ていく力を獲得する。役員レベルの受講生には、セキュリティー課題を洗い出してプライオリティーづけし、その解決を中長期的にマネジメントに組み込んでいく力を得ていただく。		
授業方法		講義＋演習	実施形態	対面＋遠隔同期＋遠隔非同期
評価方法		毎回の講義への貢献度及び提出課題(50%)＋最終発表（50%）		実施形態 同期日
授業項目	1	LSMAP 1（取引関係）クライアントとサプライヤー		非同期
	2	提出課題へのコメント LSMAP 2（内部関係）従業員、役員		非同期
	3	提出課題へのコメント LSMAP 2（内部関係）株主		非同期
	4	提出課題へのコメント LSMAP 3（外部関係）加害者、被害者、同業他社		非同期
	5	提出課題へのコメント LSMAP Plus1（公的關係）行政、司法		非同期
	6	受講生が抱えている課題（演習）受講生相互の議論 講師からのコメント		遠隔同期
	7	受講生からの中間報告 1（演習） //		遠隔同期
	8	受講生からの中間報告 2（演習） //		遠隔同期
	9	受講生からの発表 1（演習）各自のアクションプラン 業界を超えた理解・共感		対面＋遠隔同期
	10	受講生からの発表 2（演習） //		対面＋遠隔同期
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
使用教材				
特記事項		2025年度非開講		